

**県民福祉宣言**

私たちは、ふるさと「とちぎ」で暮らす全ての人々が、一人ひとり自立し、お互いに支え合い、助け合いながら、安心して、また、誇りを持って住み続けることのできる地域社会づくりを目指し、

「子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進」「人と地域の輪を広げ、ひとり親家庭への自立支援の推進」「高齢者の健康と生きがいづくりの推進」「障害者の自立支援と社会参加の促進」「共同募金やボランティアなどの民間福祉活動への参加と協力の推進」に積極的に取り組めます。

そして、ここに集う私たちをはじめ、本県の福祉関係者が一致協力して、県民の福祉に対する認識と理解を一層深め、ともに生きる豊かな福祉社会の実現に努めることを宣言します。

県の社会福祉の発展に功績のあった福祉関係者を表彰し、もって、参加者が自らの活動への意欲をより高める機会とするため開催されました。本年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、規模を縮小し、各部門の代表受領者への表彰式のみが県庁において執り行われました。

**第28回**

**栃木県民福祉のつどい**

令和4年8月22日

栃木県庁 昭和館 正庁

**栃身連**

**第147号**

発行所

一般財団法人  
栃木県身体障害者福祉会連合会  
宇都宮市若草1丁目10番6号  
とちぎ福祉プラザ2階

発行人 麦倉仁巳  
TEL 028-624-8408  
FAX 028-624-8418



栃身協会長表彰



福田知事挨拶

**栃木県知事表彰**

**障害者自立更生者**

宇都宮市 小野和良

**障害者支援功労者**

那須烏山市 菊池喜平  
益子町 大岡かねひさ  
塩谷町 植村健一

**障害者社会参加促進功労者**

矢板市 櫻井宣子  
那須塩原市 小金沢しげる

**栃木県身体障害者  
団体連絡協議会会長表彰**

**自立更生者**

宇都宮市 永田義美  
宇都宮市 宇賀神光男  
真岡市 鈴木かね子  
大田原市 小国たみ実  
大田原市 奥澤初代

**更生援護功労者**

宇都宮市 点訳ボランティアサークル かたつむり  
宇都宮市 手話コース「瞳」  
栃木市 田名網弘  
さくら市 てつかりょうこ  
市貝町 岩崎麗子  
壬生町 神永栄  
塩谷町 塩井和枝

芳賀町 黒崎歳男  
塩谷町 高橋利行

本年度の障害者関係の受賞者は2団体、18名の皆様でした。  
このたびの式典にご参列いただけなかった皆様におかれましては、ここにお祝いを申し上げます。



(敬称略)

2022

第22回  
全国障害者スポーツ大会  
「いちご一会とちぎ大会」  
栃木県選手団団長 麦倉仁巳

コロナ下で初開催となった国体が開幕し、いよいよ10月29日から3日間わたって、全国からこの栃木路に選手・役員の皆様が集まり、4年ぶりとなる全国大会が開催されます。

1965年、岐阜県において第1回全国身体障害者スポーツ大会が開催され、その後2001年からは全国的障害者スポーツ大会と統合して全国障害者スポーツ大会となり、現在は精神障害者も加わった3障害一体の大会となっております。

このたび、過去の全国大会に出場された方々に当時の思い出を綴っていただきました。

1977

青森大会

鹿沼市 葉山 廣

もう45年も昔のことです。昭和52年、私が28歳の時、栃木県の代表選手として青森大会に参加しました。

百メートル走のスタートラインに立った時、周りを見ると自分より若い選手ばかりで、これは入賞も無理だなあと思いました。でも頑張っ



走って三位に入り、次の走り幅跳びでは二位で銀メダルをいただきました。まさか二つもメダルをとれるとは思っていなかったため、感激したのを覚えています。

同じ選手団の視覚障害の選手は百メートル走で大会新記録を出して金メダルを獲得、みんな嬉しさを分かち合い健闘を称えました。

当時の副団長は前小川榮一会長で、栃木県の各福祉会からはバスを連ねて総勢3百人近くが応援参加してくれていたと聞きました。今では考えられないほどの盛況ぶりでした。

スポーツをとおして、もっとたくさんの人にこの感動を体験してほしいと思います。

1985

鳥取大会

足利市 植木紀代子

栃の葉大会に出場した大先輩より「一生に一度しか行けない最高のスポーツ大会」と聞かされていた。

スポーツとは無縁と思っていたが、障害者の仲間と楽しみで始めた『ピンポン』が、いつしか『卓球』に。

昭和60年開催の鳥取大会への出場が決まった。夢のようだった。

開会式の際、各県との挨拶にわくわく。当時の坂本茂会長も応援に駆けつけてくださり激励を受ける。

卓球の試合当日は、相手選手のやる気満々の気迫に圧倒される。「強そう」ビビる。競技会場が分かれていたので栃木県関係者の応援はなかったけれど、地元の大らかな声援が嬉しい。おかげで銅メダル。翌日は60メートル走、ただひたすら転ばないようにと思いながら力走した。

競技が終了し、安堵の思いで臨んだ『後夜祭』。各県の選手とふれあい心とむむひととき。地元のテレビ局が取材にきて、歌を披露してほしいと乞われる。夢中で『足利音頭』を歌った。後日、録画されたビデオを送ってくれた。最高の贈り物をもたらした気分。温かい応援、おもてなし、そして鳥取砂丘の風紋、忘れられない大会でした。



1988

京都大会

さくら市 秋元和男

県の身体障害者スポーツ大会に初めて参加したときのこと。プレッシャーを感じながらも砲丸投げで金メダルを獲得することができました。その事がきっかけで自信を持てるようになり努力すれば成果が付いてくるのだと希望が持てるようになりました。

30代の頃は、幾度か全国大会に出場できる機会もあったのですが、生活が楽ではなく一週間も家を留守にすることが出来ず辞退していました。

50歳になり多少は生活にゆとりが出来た頃、昭和63年の京都大会に出場の機会を得ました。県の代表として出場するのだから恥ずかしくない成績を残したいと頑張り、百メートル走とソフトボール投げの二種目で銀メダルを獲得することができました。

満員の京都市西京極陸上競技場で、プラスバンドが演奏するマーチを聞きながら、栃木県選手団の一員として行進した時には、「交通事故に遭い、左大腿部を切断してから歩んできた道のりを思い、よくこの日まで苦難に耐えてこられたな」と、熱い思いがこみ上げてきたのを覚えています。この出来事が自分の人生で一番輝いていた思い出となりました。



2000

富山大会

宇都宮市 佐々木清美

19歳の時、仕事中の事故により下半身麻痺となり2年半の入院生活後、リハビリを兼ねて始めた車いすバスケットボールが障害者スポーツとの出逢いでした。

当時暮らしていた千葉県の代表として昭和55年の栃の葉大会に出場。不便なことも多かったのですが、団体優勝を果たすことができました。

その後、縁あって栃木県に転居、2回目となる富山県での全国大会に出場することになりました。

車いすバスケットボールは関東ブロックの予選大会で敗退してしまい本大会の出場はかきませんでしたが、初めての個人種目・百メートル走とスラロームに挑戦しました。難しい面もたくさんありましたが、大会役員やボランティアの皆様のおかげで無事に参加することが出来ました。

私は、この大会に参加することによりまた一つ大切な事がわかりました。自分自身の限界を簡単に決めてしまわないで、新しいことへの挑戦がいかに大事であるかという事。それは、大会参加以後の学校訪問活動やボランティア活動などをする事により今の自分の支えとなっております。



社会の一員となれていることがとてもうれしいのです。

# 第22回全国障害者スポーツ大会 いちご一会とちぎ大会

令和4(2022)年10月29日(土)～31日(月)

## 栃木県代表選手 (紙面の都合上、身体障害の選手のみ掲載となっています)

<b>陸上競技</b>		佐野市	大島 茄巳琉	鹿沼市	石川 元胤	宇都宮市	田名網 博
宇都宮市	浅野 俊也	日光市	吉原 未来	鹿沼市	白川 博子	宇都宮市	田部井 貴詩
宇都宮市	薄井 遥珈	真岡市	斎藤 靖	鹿沼市	日向野 修	宇都宮市	芳賀 崇弥
宇都宮市	加藤 凜香	下野市	飯浜 嘉光	鹿沼市	矢野 美津子	宇都宮市	山野上 将
宇都宮市	清水 あろあ	益子町	小嶋 美紀	日光市	吉原 未優	足利市	金子 稔
宇都宮市	数度 美幸	<b>アーチェリー</b>		市貝町	小嶋 聖河	栃木市	伊藤 雅敏
宇都宮市	直井 典夫	足利市	大塚 忠胤	市貝町	矢口 キヨ子	栃木市	内田 房男
宇都宮市	矢島 一美	足利市	齋藤 宏一	<b>ボッチャ</b>		鹿沼市	塩澤 悠貴
足利市	飯島 美佐子	足利市	中村 真希	宇都宮市	荒井 南美	壬生町	斉藤 昌之
足利市	前原 武雄	足利市	堀江 麻衣	宇都宮市	大山 智子	壬生町	山川 典利
栃木市	川俣 禎康	大田原市	大豆生田 正勝	宇都宮市	津田 柚季	<b>バレーボール(聴覚・男子)</b>	
栃木市	仲井 真大	<b>卓球</b>		鹿沼市	増子 亮	宇都宮市	安孫子 貞治
栃木市	松村 純夫	足利市	藤沼 貴大	真岡市	峯岸 裕之	宇都宮市	石井 金男
鹿沼市	市田 敬一	小山市	島也 博明	那須烏山市	関 尚央	宇都宮市	大豆生田 隼輝
鹿沼市	神山 賢太郎	小山市	田野倉 祥子	<b>車いすバスケットボール</b>		宇都宮市	横山 真也
鹿沼市	奈良田 栄一	小山市	吉田 克夫	宇都宮市	大森 亜紀子	宇都宮市	若原 正享
鹿沼市	山口 璃癒	真岡市	鈴木 綾華	宇都宮市	田所 純一	栃木市	佐藤 伸
小山市	伊沢 久雄	大田原市	薄井 弘幸	宇都宮市	増淵 倫巳	佐野市	大澤 洋
小山市	石井 隼人	大田原市	加藤 輝夫	栃木市	永島 幸介	小山市	星野 幹志
小山市	原 恵美	さくら市	松岡 一徳	栃木市	間下 裕基	小山市	森田 稔
真岡市	久保野 泰央	上三川町	飯島 隆斗	鹿沼市	大貫 章裕	下野市	鎌田 英治
真岡市	吉田 哲朗	<b>卓球(サウンドテーブルテニス)</b>		小山市	有田 一也	<b>バレーボール(聴覚・女子)</b>	
矢板市	加治佐 博昭	宇都宮市	櫻井 亜叶	小山市	高松 義伸	宇都宮市	大野 桃子
矢板市	関 智博	栃木市	坂田 英樹	小山市	二階堂 敬	宇都宮市	大谷津 敏子
芳賀町	佐藤 太市	鹿沼市	宇賀神 シゲ	益子町	三村 龍	宇都宮市	小倉 祐里
塩谷町	青木 龍太	<b>フライングディスク</b>		芳賀町	大関 秀樹	宇都宮市	小野里 真美
<b>水泳</b>		宇都宮市	古口 正文	<b>グランドソフトボール</b>		宇都宮市	牧野 千恵子
宇都宮市	落合 有佳利	宇都宮市	山田 利男	宇都宮市	落合 明	宇都宮市	横山 奈々絵
宇都宮市	喜井 寛	栃木市	赤羽根 由江	宇都宮市	岩池 優希	鹿沼市	石田 さつき
宇都宮市	小室 元気	栃木市	齋藤 明	宇都宮市	尾引 建一	小山市	和光 優子
宇都宮市	齋藤 一法	栃木市	坂本 邦雄	宇都宮市	関矢 誠	高根沢町	伴内 由香
宇都宮市	鈴木 宏都	栃木市	津布楽 晴夫	宇都宮市	曾根 健司	以上	



赤い羽根共同募金運動が  
10月1日からスタートしました

この機関紙は  
赤い羽根共同募金配分金  
により発行しています

栃木県選手団は、選手299名、役員176名、  
総勢475名の過去最大規模の選手団です。  
全国各地から集まる仲間との「一期一会」を  
大切に、この大会が最高の思い出となりますように